

第四十回 貴族院議事速記録第十八號

大正七年三月二十六日(火曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第十八號 大正七年三月二十六日

午前十時開議

- 第一 請願委員長報告
- 第二 大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第二號) 會 議(委員長報告)
- 第三 大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第三號) 會 議(委員長報告)
- 第四 大正六年度歳入歳出總豫算追加案(第二號) 會 議(委員長報告)
- 第五 臨時軍事費豫算追加案(第二號) 會 議(委員長報告)
- 第六 大正七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號) 會 議(委員長報告)
- 第七 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號) 會 議(委員長報告)
- 第八 大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第四號) 會 議(委員長報告)
- 第九 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號) 會 議(委員長報告)
- 第十 大正五年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第十一 大正五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第十二 大正五年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第十三 大正五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第十四 大正五年度大正三年臨時事件豫備費支出 會 議(委員長報告)

- ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第十五 大正五年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第十六 大正五年度帝國鐵道積立金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)
- 第十七 大正五年度帝國鐵道積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

- 第十八 日本興業銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十九 朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十 德山港ヲ特別輸出入港ニ指定ノ請願 會 議
- 第二十一 橫須賀浦賀間鐵道敷設ノ請願 會 議
- 第二十二 炭價調節ノ請願 會 議
- 第二十三 鶴岡區裁判所狩川出張所設置ノ請願 會 議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔河井書記官朗讀〕

昨二十五日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

地種變更免租年期ニ關スル法律案

有價證券割賦販賣業法案

狩獵法改正法律案

臺灣銀行法中改正法律案

海軍ニ於テ海軍探炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル法律案

東京市區改正條例中改正法律案

京都市、大阪市其ノ他ノ市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

郡制中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル神祇尊崇ニ關スル建議ハ文書ヲ以テ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵松浦 厚君 副委員長 石井省一郎君

委員 大正五年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外七件特別委員會

委員長 磯部 四郎君 副委員長 子爵唐橋 在正君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

日本興業銀行法中改正法律案可決報告書

朝鮮銀行法中改正法律案可決報告書

大正五年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正五年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正五年度帝國鐵道積立金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正五年度帝國鐵道積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、請願委員長報告

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 前回ニ御報告ヲ申シマシタ以後、即チ三月ノ八日ヨリ三月二十五日マデニ委員會三回、分科會十二回、文書表ノ報告二回、特別報告ガ三回、請願書ノ受領件數ガ七十件三百二十二通、連署人名數ガ七千九十八名デアリマス、審査ノ經過及結果ハ、第二回ノ報告ノ際ニ文書表ニ掲載イタシマシタモノノ中ニ、審査未了ノモノ百三十六件三百六十三通、及ビ第二回報告後、文書表ニ掲載イタシマシタ件數ハ六十三件三百十七通、合計百九十九件六百八十通ノ中、院議ニ付スベシト議決イタシマシタモノガ二十八件二十八通、院議ニ付スルヲ要セズト議決イタシマシタモノガ六十四件九十二通、

審査未了ノモノ百七件五百六十通、文書表ニ未ダ掲載イタシマセヌノガ十四件十五通デゴザイマス、尙ホ此會期ヲ通ジマシテ全體ノ結果ヲ簡單ニ申シマスト、委員會ガ八回、分科會ガ三十四回デゴザイマス、文書表ノ報告九回、特別報告ヲ七回イタシテ居リマス、全體ノ受領件數ガ三百件八百十四通、ソレニ連署人名數ガ四萬二千三百三十二名デゴザイマス、右ノ中請願文書表ニ掲載イタシマシタ件數ガ、二百八十六件七百九十九通デアリマシテ、此結果院議ニ付スベシト可決イタシマシタモノガ四十四件四十四通、院議ニ付スルヲ要セズト議決イタシマシタモノガ百三十五件百九十五通、審査未了ノモノガ百七件五百六十通デゴザイマス、請願文書表ニ未ダ掲載イタシマセヌモノガ十四件十五通デアリマス、右ハ昨日ノ午後五時ノ締切デアリマス、御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、日程ノ第二ヨリ第九マデノ豫算案ハ一括シテ問題ト致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、第三、大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)、第四、大正六年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、第五、臨時軍事費豫算追加案(第二號)、第六、大正七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、第七、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル件(追第二號)、第八、大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)、第九、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル件(追第三號)、會議、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

- 一大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)
- 一大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)
- 一大正六年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)
- 一臨時軍事費豫算追加案(第二號)
- 一大正七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)
- 一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル件(追第二號)
- 一大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)
右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナ
リト議決セリ依テ及報告候也

大正七年三月二十三日

豫算委員長

淺田 德則

貴族院議長公雷德川家達殿

〔淺田德則君演壇ニ登ル〕

○淺田德則君 去ヌル二十日御付託ニナリマシタル大正七年度歳入歳出總豫
算追加第二號外七件、各案ノ審査ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、豫算委
員總會ハ去ル二十日午後開キマシテ大體ノ質問ヲナシマシタ、ソレヨリ分科
會ニ移リマシテ、二十三日午前マデニ審査ヲ了シマシテ、同日午後更ニ總會
ヲ開キマシテ、各分科ノ主査ノ報告ヲ受ケマシテ、審査ヲ了シマシタノデ
アリマス、是ヨリ日程第二ヨリ順次其要領ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、第一號、
大正七年度歳入歳出總豫算追加ノ金額ハ歳入六百七十七萬三千餘圓、歳出七
百四十一萬餘圓ニナツテ居リマス、此歳入ノ不足イタシマスル六十餘萬圓ハ曩
ニ協賛ヲ經マシタ大正七年度ノ總豫算ノ超過額ヲ以テ之ニ充テルコトニナ
テ居リマス、此歳出總額ノ重モナル費用ヲ茲ニ述ベルコトニ致シマス、第一
ガ製藥用阿片ノ購買費、貴衆兩院議員海外派遣費ノ増加、樺太事業公債發行
ニ付是ガ利子及發行費、大正六年度夏期大洪水ノ爲ニ天津ニ於ケル帝國總領
事館、郵便局、陸軍諸建物ノ復舊費、東亞同文會及同仁會ノ支那ニ於ケル施
設費ノ補助、澱川ノ流域ニ關スル大正六年度秋期出水ニ鑑ミ堤防ノ嵩置其他ノ
堤防工事費、大正六年十月前後東京府外二府十二縣災害ノ爲ニ要スル經費、
樺太廳特別會計ニ於ケル鐵道建設費ノ財源ニ充テル支出、大正六年暴風雨ノ
爲ニ東京灣砲臺要塞及横須賀工廠建物ノ復舊費、物價騰貴ノ爲ニ朝鮮師團建
設費ノ豫算ノ不足、物價騰貴ノ爲ニ兵器製造所新設費ノ豫算不足、大正六年
十一月豊橋野砲兵第二十一聯隊火藥爆發ニ付復舊費、元屯田兵ニ給スル救恤
金、大正六年十二月海軍造兵廠工場焼失ニ付復舊費、大阪監獄移轉費ノ一部、
京都地方裁判所ノ改築費、名古屋高等工業學校擴張費價格騰貴ノ爲ノ費用、
第五高等學校事務室改築費、九州帝國大學醫科大學配電裝置費、桐生高等染
織學校設備費、鐵道線路及鐵橋改築、電信電話線路ノ移築費、海底電信敷設

線ノ修繕費、大正六年十一月ヨリ同七年二月マデノ間ニ火災ノ爲メ神戸郵便
局舎其他焼失ニ付復舊費、是等ガマア重モナル費途デアリマシテ、此財源ニ
充テマスル爲ニ歳入ニ於テ前年度ノ繰入金、樺太事業費ノ爲ニ公債募集金、
其他司法省用地賣却代其他ヲ以テマシテ之ニ充テル計畫ニナツテ居リマス、
是等ノ費途ニ關シマスル説明ハ大略大藏大臣ヨリ過般紹介イタサレマシタ節
ニ述ベラレマシタ通りデアリマス、此中デ樺太鐵道若ハ東亞同文會、同仁會
補助、裁判所監獄ノ費用ノ如キ外ハ概ネ物價ノ騰貴若ハ災害費デアリマシテ、
何レモ是ハ已ムヲ得ザル費途ト認メタノデアリマス、唯此中ニ内務省所管澱
川改修堤防工事費ニ關シマシテ、委員中ヨリ數回ノ質問應答ヲ重ネラレマシ
テ、尙ホ希望モ述ベラレタノデアリマス、此點ニ關シマシテハ茲ニ其要領ヲ
申上ゲルコトガ必要デアラウト考ヘマス、此澱川ノ改修費ハ御承知ノ通り、
是ヨリ先キ八箇年前ニ竣工シタノデアリマシテ、其費額ハ一千萬餘圓ノ巨額
ヲ費シマシテ竣工イタシタノデアリマス、昨秋ノ出水ノ爲ニ或ル部分ニ決潰
ヲ致シマシテ、此地方ニ多大ノ損害ヲ被ラシメタノデアリマス、此實驗ニ鑑
ミマシテ現今ノ堤防ノ高サハ今後大出水ノ時ニ當リマシテ危険ヲ感ジマスル
ガ故ニ、嵩置ヲナスコト云フノガ此工事ノ趣意デアリマス、此工費ハ六箇年ノ
繼續費ト致シマシテ五百九十七萬圓ヲ要スルノデアリマス、然ルニ昨秋決潰
ノ原因及其水防ニ付キマシテ、委員ヨリ種々ノ點ニ互リマシテ質問ヲサレマ
シタ、之ニ對スル政府當局者ノ辯明ニ依リマスニ、其原因ニ付キマシテハ不
明ノ點モアリマスガ、蓋シ此水防ノ不備ナリシコトヲ推定セラレタノデアリ
マス、依ツテ此豫算ヲ決議イタシマスニ際シテ、一委員ヨリ希望ヲ述ベラレ
マシタノデアリマス、其要旨ハ澱川改修工事費ハ之ヲ認ムルモ其竣工ノ後ニ
於テ是ガ保護ト水防ノコトニ一層注意セラレムコトヲ望ム、斯様ナ希望デア
リマシテ、此希望ハ滿場一致ヲ以テマシテ是認セラレタノデアリマス、即チ
此案ハ此附帶決議ヲ以テマシテ協賛ヲ與フルコトニ決シタノデアリマス、次
ニ第二號大正六年度追加豫算、此歳入ハ千七百七十四萬餘圓、歳出ハ千二百十
七萬餘圓、茲ニ歳入ノ不足ガアリマスガ、是ハ大正六年度ノ追加豫算第一號
ノ歳入超過額ヲ以テ之ニ充ツル計畫ニナツテ居リマス、是ハ臨時軍事費ノ財
源ニ充テマス爲ノ資金デアリマス、次ハ大正七年度第三號追加豫算、是モ其
用途ハ同ジコトデアリマシテ、即チ臨時軍事費ノ豫算追加デアリマス、此歳
入歳出ハ各、千二百八十八萬餘圓ニナツテ居リマス、デ唯今申述ベマシタ前二

項ノ金額ヲ合シマシテ歳入歳出各二千五百六萬餘圓ニナツテ居リマス、是ハ即チ第二號ノ臨時軍事費追加豫算デアリマス、此中千九百九十四萬餘圓ハ陸軍ノ豫算デアリマシテ、兵器、被服其他原料ニ支出サレタノデアリマス、此餘ハ海軍ノ軍事費ニ屬スルモノト認メマス、特第一號、大正七年度各特別會計、是ハ大藏省所管デアリマシテ、國際整理基金、歳入歳出共ニ四萬五千五百餘圓ニナツテ居リマス、樺太廳ノ甲號歳入歳出百二十四萬七千二百二十圓、歳出鐵道建設費、臨時手當費、百二十四萬七千二百二十圓、樺太廳ノ乙號鐵道建設費ハ、是ハ繼續費デアリマス、五百四十七萬四千九圓、文部省所管九州帝國大學及圖書館ノ費用、歳入歳出共ニ四萬五千五百圓、追第二號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件、是ハ前ニ述ベマシタル外務省所管東亞同文會ノ事業補助總額五十八萬二千八百八十圓ヲ四箇年間ニ支出スルノデアリマス、尙ホ同仁會ノ事業補助費總額ガ三十萬圓ヲ三箇年ニ支出スルノデアリマス、第四號大正七年度歳入歳出總豫算追加ハ大藏省、内務省ノ所管ニナツテ居リマス、歳入歳出共ニ各、六萬六千九百八十八圓、是ハ貴族院令ノ改正ニ伴ヒマシテ議員増員ニ關スル經費、一ハ都市計畫調査會ヲ設置セラレマス經費デアリマス、其歳入ハ何レモ前年度繰入金ヲ以テ充テルコトニナツテ居リマス、追第三號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件、大藏省所管デ、日本興業銀行債券保證、政府ニ於テ保證ヲ致シマスル債券ノ額面ハ一億圓デアリマシテ、是ハ日本興業銀行ニ於キマシテ、支那及南洋ニ向ツテ放資スルモノニ對シマシテ、事業資金ヲ得ル爲ニ債券發行ノ必要アリト認メマシタ場合ニ、其債券ニ對シテ政府ガ元利ノ支拂保證ヲ與フル爲ノ契約デアリマス、之ニ對シマシテハ分科會ニ於テ一ノ委員ヨリ反對ノ説モ出マシタノデアリマスガ、此趣旨ハ元來此興業銀行ナルモノハ内地ノ工業ノ爲ニ外國ヨリ資金ヲ輸入シテ、而シテ内國ノ工業ヲ大ニ發展セシメムト云フ趣旨デ出來タ機關デアル、然ルニ今回ノ案ヲ見マスルト云フト、日本ニ於ケル零碎ノ資金ヲ集メテ外國ニ放資スルト云フコトハ甚ダ主從ノ違ツタコトデアアルマイカ、斯様ヲ趣意デアリマシタ、ソレ故ニ此案ニ對シテハ反對ヲスル、斯ウ云フコトデアリマシタ、之ニ對シテ原案維持者ノ意見ハ目下海外ニ放資スルト云フコトハ帝國ニ取ツテハ必要ナコトデアアル、殊ニ此放資ハ支那若クハ南洋ニ對シテ放資ヲスル目的ニナツテ居ル趣デアアル、左スレハ日支親善ヲ必要トスル場合デアアルカラシテ、此案ハ支那地方ニ於テ開發ニ援助ヲ與フルノミナラズ、又

我國ニ於テモ福利ヲ促進スルコトニナルカラシテ、是ハ原案ヲ相當トスル、斯様ヲ維持論者ノ大要デアリマス、之ニ付キマシテ分科會デハ採決ニナリマシタ結果、原案維持者ノ説ガ多數ニ依リマシテ之ヲ是認スルコトニ相成ツタノデアリマス、總會ニ於キマシテ、追加豫算ニ格別直接ノ關係ハアリマセヌガ、委員ノ中ヨリシテ、西比利亞方面ニ於ケル敵國俘虜ノ狀態等ニ付キマシテ精シク質問ヲ致サレマシタ、之ニ對シテ外務大臣ヨリソレト、相當ノ應答ヲサレタノデアリマス、又或ル委員ヨリ西比利亞方面ニ於ケル鑛業ニ付テノ質問ガアリマシタガ、是ハ速記ヲ止メマシテ政府當局ト應答ガアリマシタ、故ニ是ハ茲ニ申上ゲルコトハ致シ兼ネマスニ依ツテ、唯此事ノアリマシタダケヲ申添ヘテ置キマス、最後ノ討論ノ場合ニ委員ヨリ希望ヲ述ベラレマシタ、其要旨ハ、今回政府ガ追加豫算トシテ要求セラレタモノヲ見ルニ、總豫算ニ編入セラレベカリシモノニシテ之ヲ編入セラレズ、殊ニ會期切迫ノ場合ニ際シテ多額ノ追加豫算ヲ要求セラレテ、往々會計法第五條ノ本旨ニ適合セザル嫌ガアルニ依ツテ、政府ハ今後努メテ會計法ヲ嚴守セラレムコトヲ望ム、斯様ナ趣旨デアリマス、是亦總會一致ノ決議ヲ以チマシテ可決イタシタノデアリマス、斯ノ如クシテ第一號ヨリ第八號ニ至リマスル諸案トモ衆議院送付通リ可決シタノデゴザイマス、此段御報告ヲ申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二ヨリ第九マデ、唯今豫算委員長ノ報告セラレマシタ豫算全部ニ同意ヲ表スル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナケレバ第十ヨリ第十七マデノ承諾ヲ求ムル件ヲ一括シテ問題ニ供シマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 第十、大正五年度豫備金支出ノ件、第十一、大正五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、第十二、大正五年度特別會計豫備金支出ノ件、第十三、大正五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、第十四、大正五年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件、第十五、大正五年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件、第十六、大正五年度帝國鐵道積立金支出ノ件、第十七、大正五年度帝國鐵道積立

金外ニ於テ豫算超過支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、會議、委員長報告

大正五年度豫備金支出ノ件

大正五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正五年度特別會計豫備金支出ノ件

大正五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正五年度帝國鐵道積立金支出ノ件

大正五年度帝國鐵道積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年三月二十五日

右特別委員長

磯部 四郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔磯部四郎君演壇ニ登ル〕

○磯部四郎君 第十ヨリ第十七ニ至リマス各案件ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ報告仕リマス、委員會ハ昨日ノ午前、委員長竝ニ副委員長ノ互選ヲ終リマシテ、午後一時ヨリ直チニ委員會ヲ開キマシテ次第アリマス、其際ニ於キマシテ、即チ此第十ヨリ第十七ニ至ルマデノ各件ニ付テ各省ヨリ、竝ニ各廳ノ政府委員ヨリ詳細ニ一應ノ御説明ガゴザイマシタ、其説明ノ終リマシテヨリ尙又委員中ヨリ此浩瀚ナル豫算外支出等ニ付テノ一々質問ヲ試ミタイケレドモ、去リナガラ最早會期逼迫イタシテ居ル際ニ當ッテ、之ヲ詳細ニ質問等イタスト云フコトニ付テハ殆ド審議ヲ終ルト云フコトガ不可能ノコトデアアルカラシテ、今回限り其質問ト云フモノハ止メテ、將來ハドウゾ政府ニ於テ斯ノ如キ重大ナル案件ハ此議場ヲシテ十分ニ調査シ得ル時間ヲ以テ、斯ノ如キ案ハ即チ本院ニ廻ルヤウニ致シテ貰ヒタイト云フダケノ趣意ヲ以チマシテ、直チニ本案ノ審議ニ移リマシテ次第アリマス、所ガ御承知ノ通り斯ノ如キ浩瀚ナル書類ニ付テ一々審議ト云フコトハ餘程ムヅカシイコトデアリマスシ、又中ニハ委員中ニモ斯ノ如キモノハ是ハ出テシマッタ金デアアルカラ、今更仕方ガナイ、マア兎ニ角宜シク頼ムト云フヤウナ主義デ御廻シニ相成ッタモノデアアルガ、甚ダ遺憾ナ譯デアリマス、併シ先程ヨリ各政府委員ノ説明ニ

依ッテ見レバ、成程已ムヲ得ザルニ出デタモノト考ヘルカラシテ、今回ニ於テハ是ハ承認スル外仕方ガナカラウガ、將來ニ向ッテハドウゾ十分ニ調査シ得ル時間ヲ與ヘラレテ、是等ノ案件ハ議ニ付セラレムコトヲ望ムト云フ趣意ヲ以テ委員會ニ於キマシテハ此全部ヲ可決イタシテ次第アリマス、尙ホ數字等ニ付キマシテハ一々此處デ説明ヲ致シテ居リマシテハ甚ダ時間ヲ要シマス次第デアリマスシ、殊ニ我々共ニ於キマシテモ、殆ド數字ニ付テハ此書類ニ依ッテ調査スルヨリ外ニ途ハ無イノデアリマス、而シテ此書類ト云フモノハ斯ノ如キ浩瀚ナルモノデ、今一々之ヲ説明シテ居ル暇ガゴザイマセスカラシテ、何卒此書類ニ信ヲ置カレマシテ、即チ委員會ノ決議通り御承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望仕ル次第デアリマス、此段御報告ニ及ビマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今磯部委員長ノ報告セラレマシタ承諾ヲ求ムル件、日程第十ヨリ第十七マデノ議案全部、承諾ヲ與ヘル説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、此際議事ノ都合上暫ク休憩ヲ致シマス、特ニ諸君ニ申述ベテ置キマスガ、午後外務大臣ヨリ外交ニ關スル報告ガアル筈デゴザイマス、此事ヲ豫メ御心得マデニ申述ベテ置キマス

午後一時四十分休憩

午後一時六分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔岡書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

大正六年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

臨時軍事費豫算追加案(第二號)

大正七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)

同日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ奏上シ又承諾スヘキモノト議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正五年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正五年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正五年度臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正五年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正五年度帝國鐵道積立金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正五年度帝國鐵道積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

軍需工業動員法案可決報告書

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

共通法案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○伯爵寺島誠一郎君 日程ヲ變更サレマシテ唯今ヨリ軍需工業動員法案、第一讀會ノ續ヲ開カレムコトヲ願ヒマス

○男爵武井守正君 賛成

○伯爵柳澤保惠君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 寺島伯爵ノ日程變更ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認めマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ軍需工業動員法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ軍需工業動員法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ軍需工業動員法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ軍需工業動員法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ軍需工業動員法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ軍需工業動員法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ軍需工業動員法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ軍需工業動員法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ軍需工業動員法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

軍需工業動員法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年三月二十六日

右特別委員長

伯爵寺島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

[伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル]

○伯爵寺島誠一郎君 軍需工業動員法案、特別委員會ニ關シマスル報告ヲ申上ゲマス、唯今日程變更ノ上、御報告申上グルコトニナリマシタ此法案、特別委員會ニ於キマスル審査ノ經過ト結果ヲ陳述イタシマス本法案ハ去ヌル三月四日ニ政府ヨリ衆議院ニ提出サレマシテ、半箇月以上ヲ經テ修正議決ノ上、去ヌル二十日ニ貴族院ニ送付セラレマシテ、二十二日閉會間際四五日ト云フトキニ、此當院ノ本會ノ日程ニ上ボッタモノデアリマス、同日特別委員長ノ御指名ガ議長ヨリアッタコトハ御承知ノ通りデアリマス、御指名後二十二日即日委員會ヲ成立セシメマシテ、直チニ總理大臣、政府委員ヨリ本案提出ノ理由ト其説明ヲ承ハリマシタ、ソレヨリ二回三回ト總理、海陸軍、農商務ノ各大臣及政府委員諸氏出席サレ質問應答ヲ重ネマシタ、會期切迫ノ折柄日モ足ラザルト云フ有様デアリマシテ、二十三日ノ土曜日、二十四日ノ日曜日、二十五日ノ三日間、毎日午前午後ヲ通ジテ長時間ニ互ツテ、詢ニ委員諸君ハ熱心ニ、且ツ慎重ニ審査イタサレマシテ、尙ホ今日ノ早朝カラ開會、討議ヲ經テ漸ク先刻議長ヘ可決報告ヲ致シタヤウナ次第ゴザイマス、此點ハ殊ニ御諒察ヲ願ツテ置キマス、惜此軍需工業動員法案ニ付テノ御報告ハ、左ノ順序ニ依ツテ致シテ見タイト存ジマス、第一軍需工業動員法案ノ目的及其提出理由、第二法案ノ内容、第三委員會ニ於ケル質問應答、第四重要ナル政府ノ言明、第五討議、其際ニ於ケル意見、最後ニ於テ議了決議ニナリマシタ所ノモノ、第六即チ可決ニナッタト云フコトノ御報告、斯ウ云フ順序ヲ致シタイト存ジマス、本案ノ目的ト其提出理由ヲ申上ゲマスルニ臨ンデ、此目的ヲ申上グレバ隨ツテ其提出理由ト云フコトモ解カルコトニナルノデアリマス、國家一旦有事ニ際シマシテハ戰ハネバナラヌノデアリマス、而シテ戰ヘバ必ズ勝利ヲ得ナケレバナラヌノデアアル、勝利ヲ得ル爲ニハ總テノ事柄ヲ集中統一スル、即チ國家ヲ舉ゲテ各方面ノ全力ヲ集中統一シテ敵ニ當ラネバナラヌノデアアリ

マシテ、而カモ同時ニ此準備ハ平素ヨリ致シテ置カネバナラスノデ、而シテ始メテ軍事上遺算ナキヲ期サレノデアリマス、是ガ大體ノ目的ナノデアリマス、即チ平時ニ於ケル準備行爲ト、戰時ニ於ケル設備等ニ關シテ、軍事上必要トスル事柄ヲ、即チ軍需品ノ補給ヲ敏速確實ナラシムル其工業ヲ動員スルト云フノガ本案ノ趣旨トスル所デアリマス、而シテ漸ク此頃出來タノデアラカラシテ、此際提出シタモノデアルト政府ハ言ハレタノデアリマス、併シ今日此切迫シタ際ニ提出スルモノデアルケレドモ、一日早ケレバ準備モ一日早く出來ルト云フコトデアアル、況ヤ今日ノ場合時局ニ際シ、朝夕ヲ計ラレヌ境遇ニアルカラ、國防上カラ能ク審議シテ協賛可決ヲ望ムト、斯ウ云フコトヲ附加ヘテ政府ニ於テハ言ハレタノデアリマス、第二、本案ノ内容、第一條ニ於キマシテハ、軍需品ト稱スルモノヲ豫想シテ掲ゲテアリマシテ、尙ホ其以外ノモノト雖モ勅令指定ノ法ニ依ッテ追加スルコトノ出來ルヤウニ規定シテアルノデアリマス、第二條乃至第十條、是ハ本案ノ骨子トモ謂フベキ規定デアリマシテ、實戰ニ當ッテ適用ヲ爲シ得ルモノデアリマスカラ、重モナモノダケヲ申上ゲマス、軍需品ノ生産修理ノ爲ニ、工場又ハ土地及工作物ナドノ管理、使用、收用ヲ得セシメルコトヲ得ルト云フノ規定デアリマス、第四條ハ、衆議院ガ第二條ト第三條ノ場合ニ、政府ガ從業者ヲ供用セシムルコトヲ得ルト云フコトヲ附加ヘタノデアリマシテ、政府ハ之ニ對シテ同意ヲ表シテ居リマス、尙ホ衆議院ハ第七條ヲ加ヘマシタ、徵發令以外ノモノト雖モ、徵發令ヲ之ニ準用スルト明白ニ掲ゲマシテ、本法ト徵發令ノ相觸レテ居ナイ所ヲ示シテ居リマスノデアリマス、第五條ニハ損害賠償ノコトヲ規定シテアリマス、順序ガ顛倒イタシマシタ、第八條ニ於キマシテハ、兵役ニ在ル者ヲシテ業務ニ從事セシムルコトヲ得ルト云フ規定デアリマシテ、第九條ニ於キマシテハ兵役ニ在ラザル者ヲシテ業務ニ從事セシムルコトヲ得ルト云フ、ムヅカシキ問題ヲ是デ示シテアルノデアリマス、第十條收用五年以内ニ拂下ノ場合ニ於ケル舊所有者事業主ノ優先權ニ關スル規定ヲ掲ゲテアリマス、第十一條、第十二條、第十三條ニ於キマシテハ、平時準備ノ行爲ヲ規定シテアリマス、即チ當局ニ於テ工場等ノ調査報告スルコトヲ得ルヤウニシテアルノデアリマス、第十四條ハ諸種ノ事業ニ對シ一定ノ利益ヲ保證シ、獎勵金ヲ下付スルコトヲ得ル規定トナッテ居リマス、大小ノ事業ニ對シテ、監督命令ニ關スルコトモ此ニ掲ゲテアリマス、第十五條ハ衆議院ガ加ヘタモノデアリ

マシテ、軍需評議會ノ決議ヲ經ベキ事項ヲ擧ゲテアリマス、而シテ同會ノ規定ハ後ニ勅令ニ依ッテ定メラレルモノデアルト云フコトモ記シテアリマス、第五條ト是ハ密接ノ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、第十六條ハ報告調査ノ爲メ、其他ノ理由ノ爲ニ規定シタモノデアリマス、第十七條ハ衆議院ガ加ヘタモノデアリマシテ、事業上ノ秘密ノ暴露ヲ防イダト云フコトヲ申サレタノデアリマス、第十八條以下ハ罰則デアリマス、是等ニ付テ尙ホ一層詳シク申上ゲマスレバ宜シイノデアリマス、會期切迫ノ際デモアリマス、其邊ハ略シマスルカラ、惡シカラズ御容赦ヲ願ヒマス、重モナル質問ト應答、委員會ニ於テハ劈頭、各交戰國ニ於ケル産業動員法ノ比較研究等ニ付テ尋ネマシテ、詳シク當局ヨリ出來得ル限りノ御研究ノ結果ヲ聞キマシタ、又第二條ノ管理ト云フ文字ニ付テ、ムヅカシイ質問ガ出タノデアリマシテ、此管理ト云フ字ニ付テハ民法ノ管理ト云フ意義ニ依ルノカ、又船舶管理令ノ名前ノ中ニ含ンデ居ル管理ト云フ意味デアアルカト云フ質問モ出タノデアリマス、ソレカラ又英語ノ「コントロール」ト云フ字ニ適スルモノデアアルカト云フ御尋ガアッタノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ色々ニ答ヘラレテ居ッタノデアリマシテ、最後ニ私ノ記憶シテ居ル所デハ「コントロール」ハ指揮權ヲ有ッテ居ッテ、サウシテ事業者ノ責任デ仕事ヲスルガ、之ヲ指揮命令ヲシテ政府ノ目的ヲ達スルヤウニ仕事ヲスルノデアアルト云フヤウナ御答デアッタカノ如クニ了解イタシマシタ、ソレカラ其次ニ「供用」ト云フ字ガ使ッテアル所ガアルノデゴザイマス、此供用ト云フ文字ニ付テハ質問ガゴザイマシタ、是ハナカナカ面倒ナノデゴザイマシテ、後ニ速記録ニ就テ御覽ヲ願フト云フコトニ致シテ置キタイト存ジマス、ソレカラ此動員法ヲ施行スルニ際シテ中央ニ機關ヲ設ケタラドシナモノデアラダラウ、此動員法ノ精神ヲ徹底スル爲ニハ、ドウシテモソシナコトニシナケレバナルマイト云フ御質問ガ出マシタ、政府ニ於テハ組織上ハ望ム所デアアルケレドモ、是ハナカカ、各般ニ互ッテ居ルコトデアッテ、一朝ニシテ極メルコトハ出來ナイ、内閣ニ於テモ出來ルダケ統一ヲサセル積リデアアル、併シ如何ナル形ニ於テスルカト云フコトハ今日未ダ決シテ居ラヌト云フ御答辯デアッタノデアリマス、ソレカラ兵器製造ニ關スルコトニ付テハ委員カラ今日マデ海軍ハ左程デナイガ、陸軍ノ爲シテ居ル所ヲ見ルト甚ダ狹隘ナ思想ヲ有ッテ居ラレルヤウデ、陸軍ハ民間ノ兵器製造ト云フコトニ對シテハ不安心ト云フ考ヲ有ッテ居ラレルヤウニ見エル、總テ陸軍

ノ下ニ、陸軍砲兵工廠ニ於テ總テノモノヲ造リ出サウト云フヤウナコトニ考ヘテ居ルガ、ソナコトヲシテ居ッテハ此工業動員法ノ實際施行上ニ不都合ナコトヲ來タスヤウナコトニナリハセヌノデアアルカ、モウ少シ廣ク考ヘテ豫ネ／＼カラ民間ニサウ云フ工業ノ發達助長スルヤウニ心掛ケテハドンナモノカト云フコトヲ尋ネラレマシタ、所ガ陸軍大臣ハ成ルホド「クルップ」トカ、「スナイデル」トカ云フ大會社ガアレバ兎ニ角、未ダソコマデノ程度ニ行ッテ居ラヌ、偶、室蘭製鋼所ノ如キモノモアルケレドモ、大體ニ於テハ一向進ンデ居ラヌノデアアッテ、ドウシテモ陸軍ノ手ニ於テ砲兵工廠ト云フモノヲ有ッテ居ッテ、戰ノ最初ノ準備ダケハソレニ依ッテ十分遺憾ナキヲ期シ、ソレカラ徐徐ニ他ニヤラセルト云フ今日ハ方針ヲ執ッテ居ルノデアアル、勿論民間ノ工業ガ發達シテ來ルコトハ望ム所デアアッテ、其考デヤッテ居ルノデアアルケレドモ、アナタ方ノ御考ト同ジコトデアアルケレドモ、唯之ヲ直グアルカヤラヌカト云フダケノ意見ノ相違ナノデアアルト云フヤウナコトヲ答ヘラレマシタ、ソレカラ又軍需評議會ニ付テ質問ガ出マシテ、此軍需評議會ニ於テハ工業主、其他經濟的利益關係ニ付テノ計算、其他ノコトヲ評議イタシテ決定スル所デアアリマスガ、其以外ニ勅令ヲ規定ヲ定メル際ニ、此評議會ト云フ機關ヲ技術審査機關トカ、其他動員法ヲ施行スルニ付テノ諮問機關ノヤウナモノニシテハドウダト云フコトヲ尋ネラレマシタ、所ガ勿論此ニ書イテアルヨリ以外ニ權限ヲ付スルコトハ妨ゲナイヤウニ思フノデアアル、併シソレハ尙ホ篤ト研究シタ上ノコトデアアルノデアアル、斯ウ答ヘラレタノデアアル、ソレカラ工業材料、最モ難問デアリマスル所ノ材料ニ付テ澤山ノ質問ガ出タノデアリマス、其題目ダケヲ此ニ申上ゲテ委細ハ速記録ニ讓ルコトト致シマス、祕密會モ開キマシテ委細當局ヨリ承ハッタノデアリマス、此時間題トナリマシタモノハ海軍ニ於ケル燃料、ソレカラ燃料ノ産地、其他米、棉花、羊毛、鐵、「ニッケル」、「グリスリン」染料、藥品、其他隨分數多クノ品物ヲ含ンデ居ルノデアリマス、農商務大臣ハ材料ノ天然資源ニ我國ガ乏シイノハ極メテ遺憾デアアル、此國內ニ於テ極メテ乏シイノデアアルガ、是ハ十分努力シテ有事ノ際ニ出來ルダケノコトハ今日カラ心掛ケテ十分努力シテヤッテ居ル、又陸海軍大臣ニ於テモ同ジヤウナ御返答ヲ得タノデアリマス、ソレカラ或ル一委員ハ斯ノ如キ法案ヲ愈、成立サセテモ社會状態ニ適シテ居ラヌカラ死法トナリハセヌカト云フ虞ガアルト云フ質問ニ對シテハ、是ハ工業ヲ助長スルト云フコトト、此工業動

員法案ヲ成立セシメテ此法ニ依ッテ實施シテ行クト云フコトト相俟ッテ行クモノデアアルカラシテ、必シモ死法トナルト云フコトデハナク、之ニ依ッテ工業ガ間接ニ獎勵助長サレルト云フコトハ明カナモノデアアルト云フ御答デアッタノデアリマス、ソレカラ軍需品ノ統一ト云フヤウナコトニ付テ質問ガアリマシテゴザイマス、官業整理ト云フコトニ付テモ質問ガアッタノデアリマス、度量衡統一、有事ノ日ニ於ケル特務船ノ戰時編成ト云フヤウナコトニ付テ質問モゴザイマシタ、最後ニ或ル一委員ヨリ此案ヲ若シ不備不完全ナルモノトシテ此委員會ニ於テ修正スルヤウナコトガアル場合ニハ政府ハドウ之ニ對シテ態度ヲ執ラレルノデアアルカ、修正ニナレバ喜ンデ………洵ニ當然ノ修正デアアルナラバ、之ニ一致スルノデアアルカ、ト云フノデアアリマシタガ、ソレハ成ルホド一面其通りデアアル、良イ修正デアレバ一致セネバナラヌノデアアルガ、今日ノ場合モウ會期モ切迫シテ居ルノデアアル、ソレカラシテ衆議院ガ既ニ修正シテコチラニ廻シタモノデアアル、モウ大體デ………時局ノ際デアアルシ、又朝夕ヲ測ラレヌ境遇ニアルノデアアルカラシテ、事情切迫ト云フコトニ鑑ミテ、ドウゾ是ハ修正ヲシナイデ成ルベク通シテ欲シイト云フヤウナ意見デアッタヤウニ私ハ了解イタシマシタ、併ナガラ私トシテ茲ニ一言附加ヘテ置キタイノハ朝夕ヲ測ラレヌ境遇ニアル、或ハ事情切迫デアアル、時局デアアルト云フコトヲ頻ニ言ハレタガ、儲ソレデハドウ云フコトガ朝夕ヲ測ラレヌ境遇ト御考ヘニナル所以デアアルカ、何故ニ事情切迫ト云フコトデアアルカ、時局ト云フノハドウ云フノデアアルカト云フコトヲ再三委員ヨリ質問サレマシタケレドモ、之ニ對シテ満足ナル御答ヲ得ルコトガ出來ナカッタト云フコトハ吳々モ遺憾デアアルト云フコトヲ附加ヘテ置キマス、其他三四ノ質問ガアリマシタガ、是ハ省略イタシマス、其次ニ申上ゲマスノハ、第四重要ナル政府ノ言明、此案ヲ委員會ニ於テ可決イタシマスルニ付キマシテ、洵ニ重大ナル關係ヲ有ッテ居ル政府ノ言明デアリマス、本案ノ規定中明瞭ヲ缺クモノガアル、一委員ノ質疑ニ對シテ政府委員ハ本案ニ伴フ勅令ニ依ッテ其疑義ヲ明カニシテ置クノデアアルカラト云フ答辯ハアッタノデアアルガ、尙ホ此際當局ヨリ明カナル答辯ヲ欲シイ、責任アル答辯ヲ得ルノ必要ガアルト信ズルカラ、右ノ趣旨ヲ言明シテ貴ヒタイト云フコトヲ一委員ヨリ申出サレタノデアリマス、之ニ對シテ總理大臣ハ法文ノ不明ナル點ハ何レ施行勅令ヲ出スノデアアルカラ其際ニ意味ヲ明カニスルコトニ致ス、斯ウ御答ヘニナッタノデアリマス、又或ル一委員ヨリ此

法案ハ全體ニ互ッテナカク不備不完全ト認ムベキモノガ多イノデアアル、デ
 是ハ殊ニ後ニ於テ直ス積リデアアルカ、又衆議院ニ於テ修正シタ點ナドモ、是
 等ニ付テハ多大ノ疑義ヲ差挾ムベキ所ガアルノデアアル、是等モ將來ニ修正ス
 ル考ハナイノカ、ドウカト云フコトヲ聽留メタノデアアリマス、之ニ對シテ總
 理大臣ハ實ハ此案ハ相當研究ヲシテ出シタモノデアアルガ、是マデ實行シタコ
 トノナイ類似ノナイモノデアアル、類似ノナイ法案デアッテ、成ルホド疑義モ少
 カラヌヤウデアアル、實行ノ上障害アルコトモアルダラウ、併ナガラ此案ガ健
 全ニ實行サレテ其效力ヲ發揮スルコトヲ望ムモノデアアルカラシテ不十分ノ所
 ハ完全ニスルヤウニ、始終效力ヲ保ツヤウニ致シテ往カナケレバナラスト云
 フコトハ承知シテ居ルカラシテ、缺陷ガアレバ改正ヲ致スコトハ誠ニ已ムヲ
 得ヌコトト思フ、ト云フ御答ガアッタノデアアリマス、ソレカラ第五、討議ニ付
 テノ大體、其際出マシタル希望決議ト云フコトニ付テ申上ゲマス、或ル一員
 ヨリ此案ハ永久的ノ案デアアル、而シテ二十二箇條カラニ互ッテ居ルガ、斯ノ
 如キモノハ僅カノ時デモ出來ルノデアアルカラト云フヤウナコトヲ當局ニ於テ
 言ハレタノデアアリマスガ、左様ナ積リデハドウモ此案ヲ通過スルノハ困難ナ
 モノデアアル、併シ自分トシテ此案ノ如キモノハ必要デアアルカラ成立ヲサセ
 タイ、而シテ自分ハ此案ノ規定等ニ對シテハ疑義ヲ存シテ居ル者デアアルシ、
 又全體ヲ通ジテ不備不安全ノモノデアアルケレドモ、政府ガ前申シタヤウナ言
 明ガアッタ以上ハ、別ニ反對ヲスル點モ無クナッタノデアアルカラ改メテ贊成ヲ
 スルト言ハレタ御方モアッタノデアアリマス、又或ル一員ヨリ此案ハ時ニ鑑ミ
 テ又四圍ノ事情ニ照シ、國防充實ヲ行フト云フ上カラ見テモ、是非通過サセ
 タイカラシテ、併シ又一面不備不完全ノ點ガ多イカラ、希望トシテ二三此ニ
 述ベル、ドウカ特別委員會ノ希望トシテ、希望決議ト致シテ本議場ニ報告シテ
 吳レ、斯ウ云フコトデアアリマシテ滿場一致ヲ以テ其希望ト云フモノハ決議ト
 ナッタノデアアリマス、茲ニソレヲ申述ベタイト存ジマス、其希望ト申シマスノ
 ハ、第一、本法施行ノ爲メ各省ニ屬セザル特別ノ機關ヲ設置スルコト、二、
 軍需評議會ハ官民合同ノ組織トシ其權限ヲ定ムルニ當リテ主トシテ強行機關
 ノ諮詢ニ應ゼシメ本法ノ施行ヲ圓滑ナラシメ軍需工業ノ發達ヲ期スルコトニ
 努メシムルコト、三、本法ノ施行ニ關聯シテ左ニ掲グル事項ノ遂行ニ努ムル
 コト、其三ヲ分ケテ、一、軍需品ノ統一ヲ圖リ官業ノ整理ヲ期スルコト、二、
 從業者ノ誘拐ヲ矯正スル爲メ平時ヨリ適當ナル方法ヲ設クルコト、斯ウ云フ

ノガ希望決議トナリマシテ滿場一致ヲ以テ議決ニナッタモノデアリマス、而
 シテ是等ノ順序ヲ經テ本會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以テ此軍需工業動員法
 案ハ政府提出、衆議院修正送付サレマシタ通りニ可決イタシタ次第デアリマ
 ス、何卒本會議ニ於キマシテモ、委員會決定通りニ御可決アラムコトヲ切望
 スル次第ゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマ
 ス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵中川興長君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○男爵武井守正君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請
 ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、第一條ヨリ終リマデ
 全部ヲ問題ニ供シマス……全部同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵寺島誠一郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵中川興長君 贊成

○子爵青木信光君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議ニ
 同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十八並ニ第十九ハ御異議ガナケレバ一括シテ問題ト致シ、委員長ノ報告ヲ求メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 第十八、日本興業銀行法中改正法律案、第十九、朝鮮銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、松浦伯爵

日本興業銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年三月二十五日

右特別委員長

伯爵松浦 厚

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年三月二十五日

右特別委員長

伯爵松浦 厚

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵松浦厚君演壇ニ登ル〕

○伯爵松浦厚君 唯今ヨリ日本興業銀行法中改正案、並ニ朝鮮銀行法中改正案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ニ付キマシテ、極メテ簡單ニ御報告申上ゲル積リゴザイマス、先ヅ先キニ日本興業銀行法中ノ改正案ニ付キマシテ申上ゲマスガ、此興業銀行法中改正案ノ要點ト申シマスモノハ即チ第九條ニ第八ト第九ノ二項ヲ加ヘマシテ、船舶並ニ製造中ノ船舶、造船材料又ハ船舶屬具、即チ錨若クハ「チエイン」ノ如キ物ヲ指ス、之ヲ擔保ト致シマシテ貸付ヲ爲サシムルト云フコトガ其要點ゴザイマス、其次ハ第九條ニ更ニ一項ヲ加ヘマシテ株式應募又ハ引受ヲ爲サストスルト云フ點ゴザイマス、其第一ノ船舶ヲ擔保トスル貸付ニ付キマシテハ、唯今マデ種々船舶ニ危険状態ガ多イカラ致シテ議論ガアッタコトゴザイマス、之ニ付キマシテハ特別委員諸君カラ致シマシテ種々政府委員ニ質問應答ゴザイマシタ結果、政府委員ニ於キマ

シテハ此危険状態ノ昔日ト今日トノ違ヒ、即チ昔日ハ造船ノ精巧ナラザル所ガ、今日ハヨリ良ク、ヨリ以上ニ精巧ニナツテ居ル、並ニ此船舶ヲ取扱フ所ノ技術ガ巧妙ニナツタ、彼是ノ點カラシテ其統計的數字ヲ示サレマシテ、今日ノ危険ハ昔日ノ危険ヨリハ減ジテ居ルト云フコトヲ申サレタコトニ付テ、此船舶ニ貸付ヲ是カラスルト云フコトニ付テハ殆ド政府當局ニ於テハ危険ヲ感ジテ居ラヌト云フコトヲ詳細ニ説明ガアリマシタ、付キマシテハ、此貸付ヲスルト云フニ付キマシテ、如何ナル方法ニ依ルカト云フコトノ質問モゴザイマシタガ、之ニ付テハ政府委員ノ説明ハ即チ船舶、各種ノ保額金額ガ附イテ居ル、ソレヲ目當ニ見ル、又造船ノ評價額ト云フモノヲ見ル、又船主ノ信用ト云フコトモ見ル、又之ニ加フルニ相當ノ保證金ヲ置イテ之ニ當ラシムル、斯ノ如ク此貸付ニハ鄭重ナル態度ヲ執ラレト云フ所ノ説明ガアリマシタ、又此貸付金額ニ付テハ御承知ノ如ク、今日ハ船價ノ昂騰ヲ來タシテ居ル場合デアリマスケレドモ、其船價ノ標準ヲ立テルノハ即チ今日ノ昂騰シテ居ル所ノ船價ニ依ルノデハナイ、即チ二三年ノ平均價格ヲ取ツテ、之ニ鑑定代價ヲ……評價ヲ付ケルト云フコトデ、其評價ノ凡ソ三分ノ二位ヲ以テ貸付ケル見込デアアル、又此貸付期限ノ期間ノ長イト云フコトニ付テ特別委員ノ諸君モ心配ヲサレマシテ、之ニ付テモ政府委員ト質問應答ゴザイマシタガ、是ハ成ルベク期間ヲ、最長期間ハ十五年トシテアルケレドモ、成ルベク短イ期間ニ於テ貸付ケル方法ヲ執ル積リデアアルト云フコトヲ言明サレマシタ、又興業銀行ニ於テハ、今日マデ株式ノ應募引受ト云フモノニ付テハ致シテナカッタノデアリマス、併シ今日マデ株ヲ買入レテ居ッタコトハアリマスケレドモ、新設會社ノ株式ヲ應募シタリ引受ケルト云フコトハ今日迄ナカッタ、然ルニ今日ハ段々ト工業ガ發達ヲ致シタニ付テハ、此改正案ヲ提出サレルト同時ニ、工業金融ノ圓滑ノ途ヲ開ク上ニ於テ新設會社ノ株式ヲ引受ケルト云フコトハ、其宜シキヲ得タモノデアラカラト云フノデ之ヲ加ヘタ譯デアリマス、併ナガラ此株式ヲ引受ケラレルニ付テモ、徒ラニ濫ニ流レルヤウナコトガアツテハイカナイ譯デアアルカラ、十分ニ注意ヲ惹ク上ニ付テ必ず主務大臣ノ認可ヲ得ルニ非ザレバ許サス、ソレ以上ニ應募スル上ニ際シテハ十分ニ調査機關ヲ設ケテ置イテ専門知識ヲ集メテ遺漏ナキ點ニ於テ之ニ應ゼシメル積リデアアルスウ云フ説明デアリマス、此外興業債券ト云フ名前ノコト、並ニ支店、出張所設立ノコト、並ニ重役理事分掌、參與ノコト、並ニ債券模造處罰等ノコトニ

付テ詳細ニ政府委員ノ説明モゴザイマシタ、又特別委員モ質問應答ヲ致サレマシタ、十分ニ慎重審議ヲ盡シタ上ニ此案ハ滿場一致ヲ以テ可決イタシタ次第ゴザイマス、次ハ朝鮮銀行法中改正法律案ノ要點ヲ申上ゲマス、第一ト致シテ此保證準備金ヲ現在ノ三千萬圓ヨリ五千萬圓ニ増シタ點ゴザイマス、御承知ノ如ク近年朝鮮ニ於キマスル所ノ各種ノ事業ハ日ニ月ニ進歩發展ヲ來シタ次第アリマシテ、銀行業務ト申スモノモ、益々煩雜、繁多ヲ來タス場合ニナリマシタノミナラズ、此銀行ノ支店ニ於テモ所々ニ澤山ゴザイマス、又多ク北支那ノ滿蒙方面ニ其仕事ヲ致シテ參ルヤウニナッテ來タ譯デアリマス、之ニ加フルニ滿蒙ニ於テハ、今日正金銀行ニ於テ爲シ來タ所ノ金券ノ發行ノコト迄モ、此朝鮮銀行デ引受ケルコトニナリマシテ、最近ニ於テハ朝鮮銀行ノ發行ニ係ル所ノ紙幣ノ總計ト申スモノモ六千餘萬圓以上ニ達スル次第ゴザイマス、茲ニ於テ此際保證準備金ヲ更ニ二千萬圓増加シマシテ、五千萬圓ニナッテデアリマス、此保證準備並ニ正貨準備等ノコトニ付テ特別委員カラ詳シク政府委員ト質問應答ゴザイマシタガ、是ハ事甚ダ複雑ニ互ッテ居リマスカラ、速記録ニ於テ御覽ヲ願ヒタウ存ジマス、其第二ノ要點ハ即チ信託事業ヲ此銀行ヲシテ取扱ハシメル件デゴザイマス、今日迄ハ此信託事業ハ朝鮮銀行デハ致シテ居ラナカッタデアリマス、御承知ノ如ク、臺灣銀行若クハ興業銀行デハ之ヲ致シテ居ッタケレドモ、朝鮮デハマダ此信託事業ヲスル程ノ必要ハナカッタデアリマス、併シ段々今日ハ朝鮮ガ萬般ニ付テ進歩イタシタニ付テ、ドウシテモ之ヲ置ク必要ガアルト云フコトデ、更ニ此信託事業ヲ此銀行ノ中ニ加ヘルコトニナッテデアリマス、第三ハ今日ハ總裁トソレカラ高級理事ト云フモノガアリマシタガ、更ニ副總裁ヲ置クト云フコトニナリマシテ、此副總裁新設ニ付テモ隨分特別委員諸君ノ中ニ於テハ御議論モゴザイマシタ、併ナガラ此際ハ先ヅ政府案ニ從ッテ參ルコトニナリマシテ、是モ同ジク特別委員會ニ於テハ滿場一致ヲ以テ可決イタシタ次第デゴザイマス、右御報告申上ゲマス、今日ハ即チ會期切迫デゴザイマスルデ、又此案ハ豫算關係モ深イモノデゴザイマスカラ、何卒滿場一致、別段御異議ノアラレヌ限リハ讀會ヲ省略シテ御採決アラムコトヲ希望イタシマス

- 子爵青木信光君 讀會省略賛成
- 男爵高木兼寛君 賛成
- 男爵本田親濟君 賛成

○石井省一郎君 賛成

○田中源太郎君 賛成

○鈴木摠兵衛君 賛成

○伯爵與平昌恭君 賛成

○子爵八條隆正君 賛成

○室田義文君 賛成

○平山成信君 賛成

○男爵武井守正君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 松浦伯爵ノ讀會ノ順序ヲ省略スルト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス……兩案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 外務大臣ガ發言ヲ求メラレマシタ、外務大臣本野子爵

〔國務大臣子爵本野一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵本野一郎君) 諸君、本議會開會ノ初メニ當リマシテ、帝國ノ外交方針ニ付テ開陳イタシマシタル際ニ、本大臣ハ露國ノ形勢ニ言及シテ置キマシタガ、其後露國ノ事態ハ御承知ノ通りニ日ヲ追ッテ憂慮スベキ有様トナリマシタ、國內四分五裂ノ趨勢ハ愈々甚シキニ加ヘテ、遂ニ「ウクライナ」及ビ芬蘭ノ獨立地方ト中欧同盟國トノ間ニ講和ガ締結セラレマシテ、露國過激派政府モ獨塊ニ屈從シテ單獨講和條約ニ調印スルニ至リマシタ、而シテ此間「バルチック」海沿岸諸州ノ大部分及ビ之ニ鄰接スル西北部地方モ波蘭ト共ニ獨逸ノ掌中ニ落チマシテ、南露西亞モ亦獨逸ノ勢力ノ下ニ歸セムトスルノ形勢トナリマシタ、此事態ニ對シテハ政府ハ諸君ト共ニ深く考慮ヲ拂ハネバナリマセヌ、曩ニ聲明イタシテ置キマシタ通り、露國民ガ如何ナル政體ヲ採用スルカハ、帝國政府ノ關知スル所デハアリマセヌガ、露國ガ次第ニ獨逸ノ

勢圈内ニ包容セラレムトスル危險ニ至リマシテハ、到底帝國政府ノ等閑ニ付スルコトノ出來ヌ問題デアリマス、今ヤ獨逸ノ勢力ハ著々歐露ニ扶植サレマシテ、漸次西比利亞地方ニ浸潤シ來ルノ傾向ヲ示シテ參リマシタ、此事態ハ帝國政府ハ固ヨリ、聯合與國ノ共ニ深ク憂慮セネバナラヌコトデアリマスルカラ、遂ニ世ニ西比利亞ニ對スル帝國出兵ノ問題喧傳セラレ、最近此問題ハ著シク内外ノ世論ヲ喚起スルコトナリマシタ、中ニハ甚シキ訛傳モアルヤウニ見受ケマスルカラ、此機會ニ於キマシテ、本問題ニ關スル帝國政府ノ立場ヲ宣明シテ置キタイト存ジマス、第一ニ此問題ガ恰モ帝國政府ノ發案又ハ提議ニ基キマスルガ如キ風説内外ニ傳ハリ居ル様子デアリマスガ、是ハ全然誤報ナルコトヲ明カニ致シテ置キタイト考ヘマス、政府ハ何レノ國ニ向ッテモ日本出兵問題ヲ發案又ハ提議シタコトハアリマセヌ、固ヨリ西比利亞ニ於ケル現下ノ事態ニ付キマシテハ、政府ハ深甚ナル憂慮ヲ懷キ、殊ニ同地方ニ獨逸ノ勢力東漸ノ危險ニ付キマシテハ、特ニ注意ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、而シテ本問題ニ付キマシテハ、聯合與國ヨリ未ダ共同的提議ヲ受ケタコトハアリマセヌ、若シ將來聯合與國政府ヨリ斯ノ如キ提議ヲ受ケタルトキハ、最モ慎重ニ考慮ヲ加ヘタル上決定スル考デアリマス、帝國ハ現ニ今日マデモ聯合諸國ノ共通目的ノ爲メ、及ズ限り誠意努力シテ居リマスコトハ内外ノ普ク知ル所デアリマシテ、尙ホ將來ト雖モ同様ニ努力スル決心ナルコトハ申スマデモアリマセヌ、西比利亞ニ於ケル事態ニシテ帝國ノ安固ヲ脅カシ、又ハ我が緊切ナル利益ヲ危殆ナラシムル虞アル場合ニ立至ラバ、帝國ハ其自衛上敏速且ツ機宜ナル手段ヲ執ルノ覺悟ヲ持ッテ居ルト云フコトハ是亦申スマデモアリマセヌ、萬一帝國ガ西比利亞地方ニ於テ必要ノ行動ヲ執ルノ已ムラ得ザル場合ニ至ルトキト雖モ、固ヨリ露國ヲ敵トスルノ意思ハ毛頭アリマセヌ、ノミナラズ、彼ノ獨逸ガ現ニ歐露方面ニ於テ執レルガ如キ侵略的政策ハ、帝國ノ斷ジテ取ラザル所デアリマス、又一般露國人民ニ對シテハ、帝國ハ飽クマデ深厚ナル同情ヲ寄セ、絶エズ之ト和衷輯睦ノ關係ヲ保持セムト欲スルモノデアルコトヲ茲ニ誠實ニ表明スルヲ憚リマセヌ、尙ホ此點ニ付キマシテハ、聯合諸國ニ於テモ恐ラクハ同一ノ意見ヲ有シテ居ルコトト信ジマス、之ヲ要スルニ帝國軍隊ノ出動ナルモノハ極メテ重大事件デアリマシテ、萬一之ヲ決行スルコトアリトスルモ、其前ニハ政府ニ於テ慎重ノ上ニモ慎重ニ考慮ヲ盡スコトハ勿論ノ儀デアリマスルカラ、此點ハ諸君ニ於テ宜シク御諒察アラム

コトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 杉田定一君……御登壇ヲ請ヒマス
〔杉田定一君演壇ニ登ル〕

○杉田定一君 唯今外務大臣ノ御演説ニ付キマシテ、質問ヲ致シタイノデアリマスルガ、此出兵問題ニ付キマシテハ、先般來歐羅巴ニ於テ朝野ノ議論トナリ、其他米國ニ於テも同様ノ次第デアリマシテ、實ニ世界ノ問題トナッタヤウナ次第、又我國ニ於キマシテモ其真相ハ知リマセヌガ、何時動員ニナルカモ知レナイト云フヤウナ考ヲ……憂懼ヲ懷イテ居ッタヤウナ次第ゴザイマスルガ、唯今ノ御説明ニ依リマスルト、右出兵ノ問題ニ付テハ何等發案提議等ハコチラカラシナイノデアアル、又聯合國ノ方カラモ共同シテ何等其邊ノコトニ付テコチラヘ申來ッタコトハナイノデアアルト、サウスルト此問題ト云フモノハ、天カラ降ッタノカ、地カラ湧イタノカ、何レノ所カラ是ガ發生シテ參ッタノデアリマセウカ、其動機ガ分ラヌ、向ウノ方カラノ動機デアルカ、我我ノ方カラノ動機デアルカ、火ナキニ煙ハ出ナイ、斯ノ如ク世界ヲ震動シタ所ノ大問題ガ實ニ大山鳴動一鼠モ出ナイト云フヤウナ今日ノ何ンデアリマスルガ、併シ此動機ト云フモノハ何處カラ起ッテ來タノデアアルカ、向ウカラ申來ッタンデアアルカ、此方カラカ、何モナイト云フ譯合ハアルマイ、是ハ齊東野人ノ言カモ知レマセヌガ、何カコチラカラ向ウノ方ヘ探リヲ入レタ、所ガ向ウノ方デハ持ッテ來イノ場合デアアルデ、固ヨリ此出兵ハ歡迎ヲスルト云フ所デアウガ喧マシクナッテ來タノデアアル、所ガコチラノ方ガ纏マラス所カラ行惱ミニナッタト云フ説ガアリマスガ、是ハ齊東野人ノ言カモ知レマセヌガ、兎ニ角斯ノ如キ重大ナル問題ヲ、若シ提案發言ハセザルニモセヨ、探リヲ入レルトカ、或ハ意向ヲ聽クトカ云フヤウナ場合ニ於テハ、自ラ決スル所ガナケレバイケナイコトデアラウ、一步ヲ何スレバ國家ノ運命ヲ賭シテヤラナケレバナラヌ、是等ニ付テハ能ク國民ノ意向ヲ確メテ、即チ慎重ナル所ノ……外務大臣ガ仰セラル、所ノ態度ヲ執ラナケレバナラヌノデアアル、若シ自決スル所……己ニ決心ナクシテ、サウシテ唯意向ヲチヨット探ッテ見ル、所デ面倒ニナッテ來タト云フヤウナコトデ、大ニ板挾ミトナッテ困ルト云フヤウナ若シモ何デアレバ、實ニ國家重大ノコトデアアル、サウ云フコトハ實ニ是ハ慎重ノ態度ヲ以テヤッテ御覽ヒ申サニヤナラヌ次第デアリマスルガ、其邊ノ動機ト云

フモノハ、自ラ出タノデアリマスルカ、洵ニ今日我國ハ此聯合國ニ對シテ、日英同盟ノ結果、實ニ滿幅ノ同情ヲ寄セ實ニ貢獻ヲシテ居ルノデアリマスガ、若シ斯ノ如キ慎重ノ態度ヲ缺クト云フヤウナコトガ、若シモアッタナラバ、功ヲ一篋ニ虧クト云フヤウナコトニナリハシナイカ、詰リ其邊ノ動機如何ト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、又斯ノ如キ重大ナルコトニ付テ、若シ當局者ガ慎重ナル態度ヲ一步過ッタト云フコトニ至レバ、其爲ニ國家ニ實ニ重大ナルコトガ起ッテ來ルノデアリマス、ソレ等ニ付テハ、ドウ云フ何デアリマスルカ、當局者ニ於テモ御自覺ガアルヤ否ヤト云フ點デアアルノデアリマス、ソレカラ唯今外務大臣ノ御説デハ獨國ノ勢力ガ歐露ニ及ンダ、若シ即チ東亞ニ及ブ場合ニ至ッテハ、自衛上又防禦上大ニ決セニヤナラヌヤウナ場合ニナルカモ知レナイト云フヤウナ何デアリマスガ、ソコデ其時期ト云フモノハ何時デアルカ、今日ハ西部ノ戰場ニ於テ乾坤一擲勝負ヲ爭フ所ノ場合デアリマシテ、若シ出兵デモシテ、歐洲ノ幾ラカ聲援ニモナルト云フコトノ必要ガアルナラバ、モット早イ方ガ宜クハナカッタカト思フヤウナ次第デゴザイマス、併ナガラ一方ニ於テ自衛上ニ於テモ是モ亦幾ラカハ後レテハ居ナイカ、併ナガラ未ダ遲シトセヌノデハ……ナイノデハナイカト思ヒマスノデアリマスガ、先般「ブラゴエチエンスク」ニ於テ邦人が危害ヲ受ケ、死傷者ガアッタト云フヤウナ、又一方ニ於テハ何カ國旗ガ凌辱ヲ受ケタト云フヤウナ説ガアル、又一方ニ於キマシテハ、此聯合軍ノ方カラ送ッタ所ノ兵器デアリマスガ、サウ云フモノガ西伯利亞ノ方ニ蓄積シテアッタ、ソレヲ何カ知リマセヌガ、過激派ノ方デハ其兵器ヲ敵ノ方ヘ送ッタト云フヤウナコトガ、先日ノドノ新聞カニアリマシタ、サウ云フヤウナコト、又一方ノ方ニ於テハ之ヲ抛ッテ置ケバ、此交通機關ヲ或ハ敵ノ方ニ占領セラレルト云フヤウナコトニナリハセヌカ、聞ク所ニ據レバ獨逸ノ捕虜ハ、先達テ「ブラゴエチエンスク」ノ彼ノ衝突ノ場合ニハ、捕虜ガ向ウノ過激派ノ方ニ加ハッテ居ッタ、又獨逸ノ俘虜デ軍團ヲ組織シタト云フヤウナ説モアリマスガ、サウ云フヤウナ捕虜ガ西伯利亞ノ方ニ參ッテ居リ、既ニ先達テノ衝突ノ場合ニモ捕虜ガ加ハッテ居ッタト云フヤウナ説モアルヤウナ次第デアレバ、治安上ニ付テモ甚ダ危險ノ虞ハナイカ、又兵器又ハ物資、又交通機關、サウ云フヤウナモノヲ敵ニ占領セラレルヤウナ虞ハナイカ、其邊ニ付テハ、決シテ治安上又兵器、交通、物資、サウ云フヤウナモノハ、即チ敵ニ糧ヲ齎ラスト云フヤウナ所ノ憂ハナイ、心配ハナイト云フ所

ノ御考デアリマスルカ、其邊ガ如何デアリマスカ、若シアリトスレバ、出兵ノ……日本ノ即チ此自衛上ニ於テ出兵ノ必要ガナイカ、其邊ノ所ヲ御伺ヒ致シタイ何デアリマス、ソレカラコトヲ方デハ露國ノ方ハ決シテ敵ニ取ラナイト云フ所ノコトヲ意圖ハ唯今ノ御説明デ分リマシタガ、向ウノ方デ即チ過激派又一方ニハ穩和派ガアルサウデアリマスガ、其穩和派ガ日本ニ對シテノ態度ト云フモノハドウ云フモノデアルカ、過激派ガ日本ニ對シテノ態度ハドウ云フモノデアルカ、コトヲ意圖ハ分ッタガ、向ウノ模様ガドウモ分リマセヌ、兩方トモ日本ニ好意ヲ表シテ居ルモノデアルカ、其邊ノ所ハ能ク御分リデゴザイマセウデ、其邊ノ所ヲ承ハリタイ次第デアリマス、此頃はハ新聞ノコトヲ申スノモ何デアリマスガ、露西亞ノ方カラ御歸リノ途中デ、ドウモ彼ノ過激派ト云フモノハ權力ヲ失シテモ、彼ノ過激派ノ思想ト云フモノハ中止マヌノデアアル、彼ノ過激派ノ思想ト云フモノハ、「レニン」ガ倒レテモ、マダ其仲間ト云フ者ガアッテ止マヌノデアアル、日本ノ方デハ向ウノ政體ニハ干渉ハシナイ、併シ先日獨逸ノ其後ノ何ハ、講和ノ場合ニ於テモ獨逸ノ方デハ、露國ノ方デアア云フ極端ナル思想ヲ獨逸ニ浸入サセルノハ困ル、アア云フ不都合ナル危險思想ハ、獨逸ニハ注入シナイヤウニシテ吳レト云フヤウナコトガアッタヤウデアリマスガ、向ウノ政體ニ干渉シナイケレドモ、何分アア云フ國家モ社會モ秩序モ貧富モ貴賤モ、悉ク破壊シ盡スト云フヤウナ思想ノヤウデアリマス、サテ鄰國ノコトハ政體ニ干渉シナイニセヨ、サウ云フ危險思想ガ段々他ヘ波及スルト云フコトガアッテハ、ソレハ支ヘナイカ、ソレハ「レニン」ガ倒レテモ亦其思想ト云フモノガ起ッテ來ルノダト云フト、是ハ樂觀スベキモノデアアルマイト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ點ニ至ッテモ、唯隔岸ノ火災視スル譯ノモノデモアルマイ、大ニサウ云フ危險思想ノ防禦ト云フモノニ付テハ是ハ注意シナケレバナラヌコトデアラウト思フノデアリマシタガ、詰リ此穩和派、過激派ガ我國ニ對シテノ態度ハドウ云フモノデアルカ、又サウ云フ思想ヲ假令人ノ國ノ政體ニ干渉セザルモ斯ウ云フコトハ成ルベク此方ニ波及シナイヤウニ、是ハ餘程注意ヲシナケレバナラヌコトデアラウト思フノデアリマス、更ニ是ハ唯新聞ノ一ツノ風説デアアルカモ知レマセヌケレドモ、先般米國ノ方デ何カ鐵道隊トカ何トカ云フヤウナモノヲ、西伯利亞ノ方ニ派遣ヲ致シ、何カ日本ノ長崎ノ方ニ於テ、ソレガ向ウヘ出張シテ又歸ッタトカ云フヤウナ説モアリマスルガ、其鐵道隊ト云フモノガ、何デアウノ方

へ出張ニナツタモノデアルカ、其邊ノ事情、又是モ間違カモ知レマセヌケレドモ、先日高橋君ガ黑龍江ノ船舶ヲ米國デ買上ゲタトカ云フヤウナコトモアルト云フコトニ付テ、總理大臣ニ御尋ニナツタラバ、不幸ニシテ未ダサウ云フ報道ニ接シナイト云フコトデアリマシタガ、其鐵道隊ノコト、ソレカラ米國ノ船舶買占ト云フヤウナコト、斯ウ云フヤウナコトハ有ツタコトデアリマスルカ、無イコトデアリマスルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス、詰リ出兵問題ノ動機、ソレカラ西比利亞ニ於ケル、即チ治安交通又物資其他ノコトハ放任シテ置イテモ安心デアルカ、若シ安心デナシトスレバ、何かソレ等ノ爲ニ出兵ノ必要ト云フコトハナイカ、ソレカラ向ウノ方ノ過激派温和派ノ我國ニ對スル態度ハドウ云フモノデアルカ、又其危險思想トカ云フコトニ付テノコトデアリマスルガ、ソレカラ米國ノ鐵道隊、武器ノ買占、斯ウ云フヤウナコトハ事實デアルヤ否ヤト云フコトノ質問デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本野外務大臣

〔國務大臣子爵本野一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵本野一郎君) 唯今ノ杉田君ヨリノ御質問ニ對シテ、一言御答イタシテ置キタイト思ヒマスル、出兵問題ガ湧出タニ付テ、何レ是ハ何處カラカ言出シタコトデアルト思フガ、一體之ニ對スル動機ハドウ云フモノデアアルカト、斯ウ云フコトノ御質問デアリマシタガ、無論此西比利亞出兵問題ト云フモノノ起リマシタ動機ハ、先程申シマシタ通り、露西亞ノ狀況ガ今日ノヤウナ渾沌タル状態ニナツテ起ッテ來タ問題デアリマス、併ナガラ唯今杉田君ノ御質問ニナリマシタコトヲ、此所デ私ガ明白ニ申シマスレバ、今日マデ此問題ニ關シテ聯合與國ト帝國政府トノ間ニ意見ノ交換ノアッタコトヲ明カニ述べネバ十分ノコトハ分ラヌノデアリマス、併シ此事ハ今日此議場ニ於テ未ダ之ヲ發表スルノ時機ニ達シテ居リマセヌ、此事ハ御斷リ致シテ置キマス、又西比利亞ニ於テ萬一帝國ガ行動ヲセネバナラヌト云フ場合ニハ、時機ハドウデアアルカ、モウ既ニ遲レテ居ラスカト云フヤウナ御質問デゴザイマスガ、此行動ノ時機如何ニ依リマシテ、是ガ若シ假令斯ウ云フコトガアリト致シマシテモ、先程モ言ヒマシタ通り、政府ト致シマシテハ最モ慎重ニ考慮ヲ致シテ、機宜ヲ誤ラヌヤウニシナケレバナラヌノデアリマス、今日ヨリ豫メ何時ドウト云フコトヲ明言スルコトハ無論出來ヌ次第デアリマス、西比利亞ニ在ル物資又極東方面ニ在ル軍需品其他ノ物ニシテ敵ノ手ニ陥ル危險ハナイカ、

無論此問題ハ最モ重大ナ問題デアリマス、帝國初メ聯合諸國ニ於キマシテモ、大ニ憂慮イタシテ居ル點デゴザイマス、此點ニ付キマシテハ、最モ深ク注意ヲ致シテ居リマシテ、機宜ヲ誤ラナイヤウニ致ス積リデゴザイマス、又露國ノ人民ハ今日日本ニ對シテ過激派ト云ハズ、穩和派ト云ハズ、如何ナル感想デアラデアラウカ、如何ナル感情ヲ持ッテ居ルデアラウカト云フヤウナ御質問デゴザイマシタガ、私ガ今日マデ得テ居リマス所ノ報告ニ依リマスレバ、露國人一般カラ申シマスレバ、決シテ日本ニ對シテ敵愾心ヲ持ッテ居ル、日本ヲ敵ト看做スト云フヤウナ觀念ノアルヤウニハ思ハレマセヌノデアリマス、無論多クノ露西亞人デアリマスカラ、中ニハ多少サウ云フ觀念ノアル者モアルカモ知レマセヌ、一般ニ之ヲ申シマスレバ、露國人全體ト云フ者ハ日本ニ對シテ惡感情ヲ持ッテ居リ、日本人ヲ敵トスルト云フ考ヲ持ッテ居ルト云フ傾向ハ未ダ見エマセヌ、尙又最後ニ亞米利加ノ鐵道隊云々ト云フコトニ付テ御質問モゴザイマシタ、此點ニ付テ一言御答イタシテ置キタイトガアリマス、露西亞ガマダ今ノ政府ニナリマセヌ前、即チ獨逸ニ對シテ盛シニ敵對行動ヲ執ッテ居ル時代デゴザイマシタ、露西亞ノ鐵道ノ運輸ト云フモノガ十分ニイカスト云フノデ、露西亞カラ亞米利加ニ相談ヲ致シマシテ、亞米利加カラ技師ヲ聘シマシテ、露西亞ノ鐵道ノ運轉ヲ良クスルコトヲ頼ンダト云フ事實ガゴザイマス、先頃マデ長崎ニ二百何十人ト云フ亞米利加ノ技師ガ居リマスノモ即チ其雇ハレタ技師ノ一部デアリマス、此技師ノ一部ト云フモノガ今西比利亞方面ニ參ッテ居リマス、一部ダケ參ッテ居ルト云フコトヲ承知イタシテ居リマス、是ハ全ク露西亞人ガ監督シテ居リマスル所ノ鐵道ノ一部分ノ改良ヲ計ル前カラノ目的ヲ遂行スル考デ行ッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、是ハ全クノ事實ダラウト存ジマス、亞米利加ガ黑龍江ニアル船ヲ買ッタト云フコトモ新聞デ見マシタ、又之ニ付テハ色々調査モ致シテ見マシタ、今日マデ私ガ得テ居リマスル所ノ報告ニ依リマスレバ、新聞ニ出タコトト云フモノハ事實デハナササウニ思ハレルノデアリマス、是ガ的確ノ事實デアルト云フコトノ報告ハ未ダ得テ居リマセヌ、大體杉田君ノ御質問ニ對シテハ御答イタシタ積リデアリマス

○杉田定一君 外務大臣ノ今ノ御説明ハ要領ヲ得マセヌノデゴザイマス……

○議長(公爵徳川家達君) モウ少シ大キナ御聲デ願ヒタウ存ジマス

○杉田定一君 西比利亞ニ於ケル兵器或ハ交通或ハ居留民ノ治安、其點ニ付

テ何か不安ナ點ガナイカ、其事ヲ御尋ネ申シタ、政府ハ其點ニ付テハ大ニ注意シテ居ルト云フ唯今ノ御答辯ノヤウデアリマスルガ、併ナガラ其點ニ付テハ今ノ所デハ御安心デアアルカドウデアアルカ、別段ソレ等ニ付テ手段方法ヲ講ジナクテモ先ヅ今ノ所デハ安心デアアル、出兵ナドハシナクテモ宜イ、斯ウ云フ其御安心ガアルノデアリマスカ、サウシテアソコニ俘虜ガ居ルケレドモ、決シテサウ云フヤウナ面倒ハ起サナイト云フ所ノ何デアリマスカ、其邊ノコトニ付テハ事情ヲ能ク御取調ベニナツテ居ルデアリマセウガ、其邊ニ付テ安心ヲ置カレルノデアアルカ、ドウデアアルカト云フ點デアアルノデゴザイマス、ソレカラ亞米利加ノ鐵道委員ハ是ハ政府デナク民間ノ鐵道會社トノ關係デアリマスカ、又ハ政府ガ何カ關係ヲシテ居ルノデアリマスカ、其邊ノ所ハドウ云フコトデゴザイマスカ、ソレカラ一ツ是ハチヨット……(聽取シ難シ)アア云フ危險思想ニ對シテハドウスルト云フノデアリマスカ……其點ヲ伺ヒタイ

〔國務大臣子爵本野一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵本野一郎君) 西比利亞ノ今日ノ狀況ニ於テ日本人ノ生命財產其他ニ付テ不安ノ點ハナイカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタ、ソレデ露西亞ノ狀態ハ先程モ述ベマスル通りニ極メテ渾沌タル有様デアリマシテ、今日ハ平安デアツテモ明日ハ不安デアルト云フコトモ有リ得ベキコトデゴザイマス、今日唯今御話申ス際ニ今直チニ斯ウデアアル、不安デアルト云フコトハ申スコトハ出來マセヌ、併ナガラ時々刻々變ハル狀態デアリマスルカラ明日ドウナルカ、明後日ドウナルカト云フコトハ私ハ此處豫言イタスコトハ出來マセヌ、是ガ即チ政府ガ最モ深ク注意ヲシテ居リマシテ、臨機應變機宜ヲ誤マラスヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、又亞米利加ノ鐵道委員ト云フモノハ政府關係ノモノデアアルカドウカト云フヤウナ御質問デアリマシタ、是ハ最初露西亞政府カラ亞米利加政府ニ申出マシテ亞米利加ノ政府カラ出マシタモノデアリマス

〔海江田準一郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 海江田君ハ外務大臣ニ御質問デゴザイマスカ

○海江田準一郎君 ハイ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス……其處デ宜シウゴザイマス、成ルベク大キナ御聲デ外務大臣ニ御分リニナルヤウニ願ヒマス

○海江田準一郎君 先程外務大臣ノ御説明ニ依リマシテ私が質問イタサウト

シマシタコトニ付テ私ハ得ル所ガゴザイマシテ満足イタシマシタ、之ト同時ニ戰爭前ニ露國ガ印度ヲ脅カス目的ヲ以テ今ノ「アフガニスタン」及「トルキスタン」ノ方ニ敷キマシタ鐵道線路、之ヲ利用シマシテ獨逸ガ此機會ニ印度ノ背後ヲ脅カスヤウナコトガナイトモ限ラナイノデアリマス、若シ斯ル場合ニナリマシタナラバ日本ハ日英同盟ノ契約ニ基キマシテ或ル種ノ責任ヲ分擔シナケレバナラナイコトデアラウト本員ハ思フノデアリマス、依ツテ先程此西比利亞ノ方ノコトニ付テハ御説明デ本員ダケハ満足イタシマシタガ、此獨逸ガ印度方面ニ對シテ今日如何ナル活動ヲシテ居ルカ、此事ガ御説明ガ出來得ルモノナラバ大體デモ宜シウゴザイマスガチヨット御説明ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス

〔國務大臣子爵本野一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵本野一郎君) 唯今ノ海江田君ノ御質問ニ對シマシテハ遺憾ナガラ私ハ今日此處デ説明スルノ自由ヲ持チマセヌ

○若槻禮次郎君 先程杉田君カラ御尋ネニナリマシタ第一點ハ私共モ是非能ク承ハツテ置キタイト思フテ居ッタ所デアリマスガ、外務大臣ノ御答辯ハ其點ニ向ツテ我々ニ満足セシムルダケニハ御述ベニナラナカッタノデアリマス、ソレデ此處デ改メテ極ク簡單ニ私カラ御尋ヲ申上ゲテ見タイノデアリマスガ、先程ノ御演說ニ依リマスルト日本政府ハ西比利亞ノ出兵ノコトニ付テハ提議モシタコトモナケレバ又發案ヲシタコトモナイ、又聯合與國カラ帝國政府ニ對シテ何等ノ提議ヲナシタコトモナイ、斯ウ外務大臣ハ御述ベニナッタノデアリマス、ソレハモウ外務大臣ノ御言明デアリマスカラ其通りデアラウト私ハ考ヘテ居リマス、唯外國カラ參リマス電報ナドヲ見マスト「ロイテル」電報、其「ハーバース」電報、總テサウ云フコトヲ見、竝ニ其到著電トアリマスカラ何レ政府デハ御承知ニナツテ居ルコトト思ヒマス、斯ウ云フコトガ外國新聞ノ論說トシテ出テ居ルニ依リマスルト、總テ日本ノ提議ト云ツテ居ル、出兵ニ對スル日本ノ提議ト云フコトヲ英吉利モ考ヘ佛蘭西モ考ヘテ、亞米利加ニ於テモ考ヘテ居ル所デアアル、是ハ日本カラ提議ヲナサラナイノニ彼地ニ於テハ左様ニ云フノデアリマセウカ、無論誤ッテ傳ヘラレテ居ルコトト思フノデアリマス、ソコデ伺ヒタイノハ日本デハ提議ヲナサラズ發案モナサラナイ、與國カラモ亦提議ハシテナイト云フコトハ明カニナリマシタガ、提議或ハ發案ト云フヤウナ程ノコトデナクシテ、西比利亞ノ出兵ニ付テハ日本政府ハ何等カ積

極的ナル行動ヲ御執リニナツテ、ソレハ提議或ハ發案デハナイケレドモ、外國デハ之ヲ日本ノ提議ト受取ツテ居ルヤウナコトハナイノデアリマス、詰リ帝國政府ハ自分デ是等ノコトニ付テハ何等カノ形ノコトヲナサレタノデアリマス、外務大臣ハ其事ニ付テ答辯ヲスルト云フト、與國トノ交渉ノコトヲ明カニセスケレバナラヌノデ今日ハ此事ハ言ハヌト云フ御答辯デアリマシタガ、私ハ其内容ハ伺ヒマセヌデモ宜シウゴザイマスケレドモ、外國ニ於テ日本ノ提議ナリト誤解スルヤウナ何等カノ形ヲ御執リナツタノデアアルカドウカ、此一點ダケ伺ヒタイ

〔國務大臣子爵本野一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵本野一郎君) 唯今若槻君カラノ御質問ノ次第ハ至極御尤ノコトデゴザイマス、外國ノ新聞其他ニ於テ日本カラ發議シタトカ、提議シタトカ云フヤウナ誤報ガ傳ハツテ居リマスカラ、先ヅ私ハ明カニサウ云フコトハナイト云フコトヲ此席上ニ於テ明カニ聲明イタシテ置キタイノデアリマス、外國新聞ハ如何ナル事柄ヲ理由トシテサウ云フ風説ヲ傳ヘタカト云フコトハ私ハ承知イタシマセスケレドモガ、帝國政府ガ何等カ積極的行動ヲ執ツタガ爲ニ……斯ノ如キ風説ノ傳ハル理由ハナイト云フコトヲ……私ハ茲ニ明言イタスコトハ出來マセヌ、ソレデ此點ニ付キマシテハドウカ誤解ノナイヤウニ致シテ置キタイト存ジマス

○若槻禮次郎君 チョット御言葉ガ私ニハ受取レマセヌノデシタガ、帝國政府ハ何等積極的行動ヲ執ツタコトハナイト云フコトヲ御言明ニナツタ、斯ウ云フコトデアリマス

○國務大臣(子爵本野一郎君) 左様デゴザイマス

〔國務大臣伯爵寺内正毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵寺内正毅君) 諸君、第四十回帝國議會ノ將ニ終リテ告ゲムトスルニ當リマシテ、茲ニ重ネテ所思ヲ披瀝スルコトヲ得マスルノハ本大臣ノ洵ニ光榮トスル所デゴザイマス、政府ハ時局ノ重大ナルニ鑑ミ、國防ノ充實、其他緊急務ナリト認メタル豫算及法律案ヲ提出イタシマシタル所ガ、諸君ハ慎重審議ノ結果、重要ナル諸案ニ對シテ速ニ協賛ヲ與ヘラレマシタ、此事タルニ諸君ガ國家ノ將來ヲ念トセラル、愛國的精神ノ發露ニ外ナラザルモノト信ジマス、茲ニ深厚ナル敬意ヲ表スル次第デゴザイマス、將來時局ノ推移ハ今ヨリ豫言ハ出來難イノデアリマスガ、露獨單獨講和ノ結果、獨逸ノ勢

力ハ漸次極東ニ波及シ、東洋ノ平和ヲ亂サムトスル虞ガアリマスノデアリマス、政府ハ萬一帝國ノ安危利害ニモ拘ハリ、又ハ聯合與國ノ共同ノ利益ヲ保護スル必要アル場合ニ臨ミマシテハ、斷乎タル機宜ノ處置ヲ執ルコトヲ決心シテ居ルノデゴザイマス、諸君、凡ソ國難ニ處スルニ當リマシテ奉公ノ至誠ヲ盡スコトハ我ガ國民固有ノ美性デアリマシテ、内外ニ對シテ竊ニ誇トスル所デアリマス、今ヤ時局愈々重大ナラムトスル時ニ當リマシテ、茲ニ政府ノ意向ヲ表明シテ國民ノ自覺ヲ促ス必要アリト認メマス次第デアリマス、終リニ臨ミ諸君連日ノ御盡瘁ヲ感謝スルト同時ニ、時局ノ進展如何ニ依リマシテハ、重ネテ近ク諸君ノ來會ヲ煩ハスコトガアルカモ知レマセヌ、此一事ハ豫メ諸君ノ御念頭ニ置カレムコトヲ希望イタス次第デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十、德山港ヲ特別輸出入港ニ指定ノ請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

意見書案

德山港ヲ特別輸出入港ニ指定ノ件

山口縣濃郡德山町長尾越悌輔呈出

右ノ請願ハ山口縣德山港ハ天然ノ良港ニシテ灣内ニハ多數ノ艦船出入シ灣頭ニハ諸工場及工場豫定地アリ既ニ同町ニ於テハ市區改正及築港計畫準備セラレ大正八年度ヨリ之ヲ實施セムトスルノ状態ニシテ貿易港タルノ資格ヲ具備スルヲ以テ同港ヲ特別輸出入港ニ指定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正七年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

○男爵内田正敏君 本員ハ海軍大臣ニ質問イタシタウゴザイマス、唯今日程ニ上ツテ居リマスル德山港ヲ特別輸出入港ニ指定スルト云フ請願ニ對シマシテハ、政府委員ハ委員會ニ於キマシテハ必要アリト認ムルト云フコトデアリマシタガ、然ルニ御承知ノ如ク德山ニハ海軍ノ練炭製造所ヲ置イテ居ル所デ

アル、殆ド要港ニ近イヤウナ意味ヲ有ッテ居ル所ノ港ト想像イタシマス、之ヲ特別出入港ニ致シマスコトニ付キマシテハ、海軍大臣ハ如何ナル御考ヲ有ッテ居ラレマスカ、一應大臣ノ御意嚮ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 徳山ヲ特別輸出入港ニ致シマスト云フコトニ付キマシテハ、海軍省所管上ニ於キマシテハ何等差支ゴザイマセヌ、ソレダケ申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本請願ヲ採擇ノ上政府ニ送付スベシトスル説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(公爵徳川家達君) 少々御起テノ儘ニ願ヒマス……過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十一、横須賀浦賀間鐵道敷設ノ請願、第二十二、炭價調節ノ請願、第二十三、鶴岡區裁判所狩川出張所設置ノ請願、會議

意見書案

横須賀浦賀間鐵道敷設ノ件

神奈川縣三浦郡浦賀町長川島平藏外百十名呈出

右ノ請願ハ神奈川縣三浦郡ハ勝地ニ富ミ各種ノ産業發達シ殊ニ浦賀町ハ近時造船事業ノ發展ニ伴ヒ貨物ノ出入人馬ノ往來頻繁ヲ加ヘ交通機關ノ不足ヲ感スルコト切ナルヲ以テ速ニ横須賀線ヲ浦賀町迄延長シテ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正七年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

意見書案

炭價調節ノ件

京都商業會議所會頭濱岡光哲呈出

右ノ請願ハ近時石炭ノ價格暴騰シ各種工業ノ蒙ル打撃頗大ナリ依テ之ヲ救

濟スル爲政府ハ速ニ撫順炭ノ産出ヲ増加スルノ計畫ヲ立テテ之ヲ輸入シ又石炭ノ輸出ニ對シテハ適當ノ制限ヲ加ヘ其ノ他船舶及鐵道貨車ニ依ル石炭ノ輸送ヲ便ナラシムル等炭價調節ノ方法ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正七年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

意見書案

鶴岡區裁判所狩川出張所設置ノ件

山形縣東田川郡狩川村長奥山良平外四名呈出

右ノ請願ハ山形縣東田川郡狩川村ハ交通ノ要路ニ當リ土地廣ク戸口多ク産業發達シ登記事務逐年累加スルモ鶴岡區裁判所藤島出張所ノ管轄ニ屬シ不便ナルヲ以テ明年度ニ於テ同村大字狩川ニ鶴岡區裁判所出張所ヲ設置シ同村及立谷澤、清川、大和、十六合ノ四村ヲ其ノ管轄區域トセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正七年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 是等ノ請願モ採擇ヲ致シ、政府ニ送付イタシテ御

異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

大正七年三月二十六日

内閣總理大臣伯爵寺内正毅

貴族院議長公爵徳川家達殿

通牒

本月二十七日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被仰出候

○議長(公爵徳川家達君) 是ニテ散會ヲ宣告イタシマス

午後二時四十一分散會